

海況情報【内湾湾口観測結果】

令和5年5月23日

【観測結果（調査日：5月17、18日）】

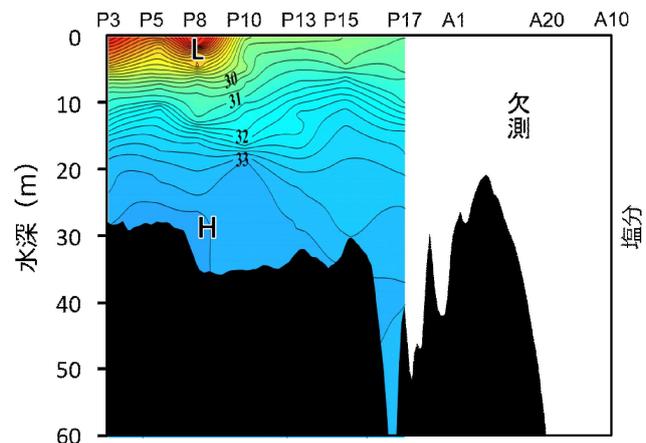
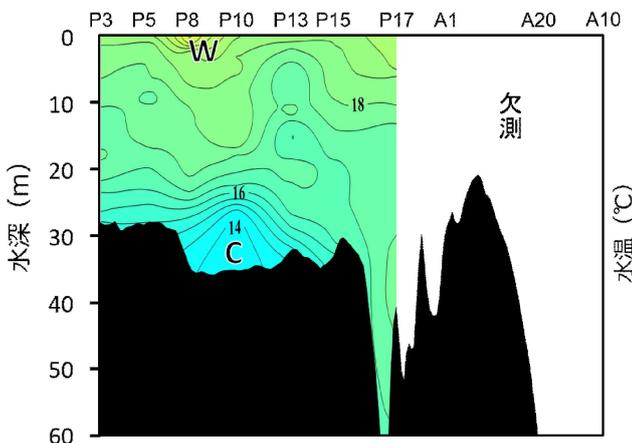
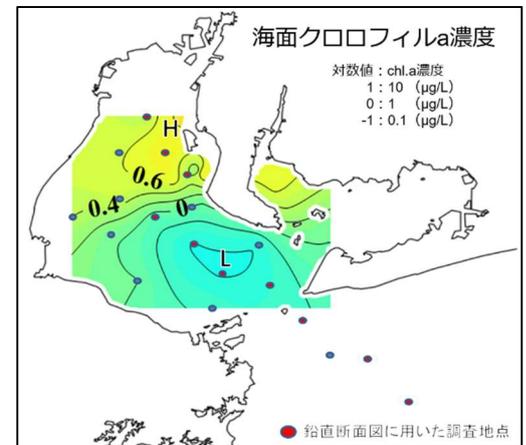
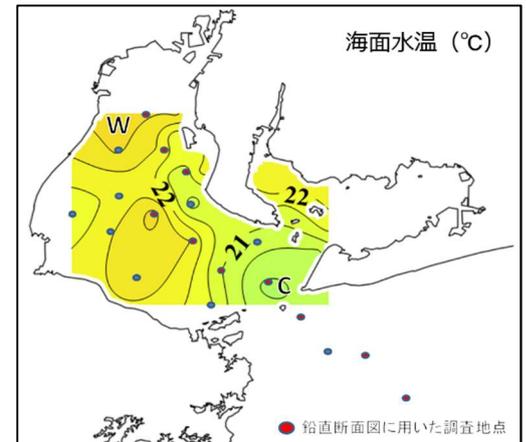
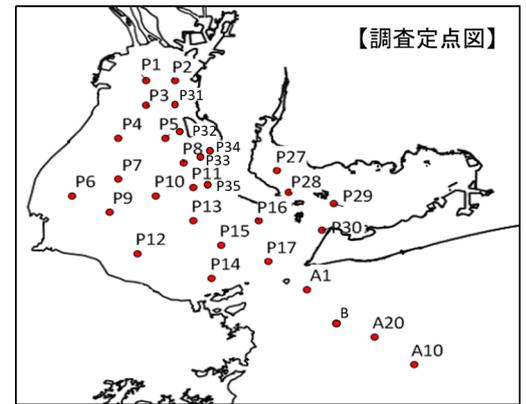
5月17日に伊勢湾北部、18日に伊勢湾南部と三河湾の観測を実施しました。海面水温は19.9℃から23.2℃となっており、湾口部は潮汐により混合されて比較的水温が低いものの、内湾は全域で気温の上昇により比較的高水温となっています。

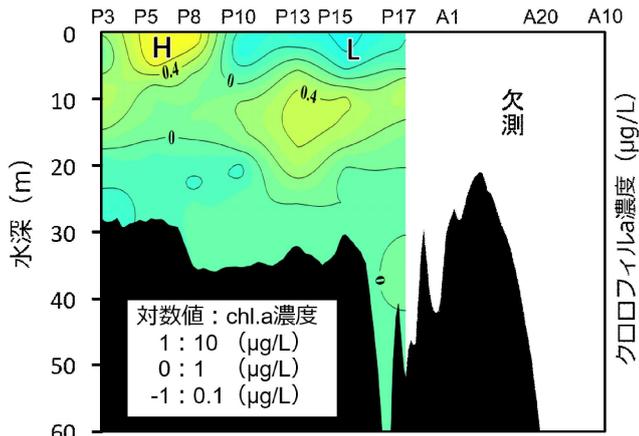
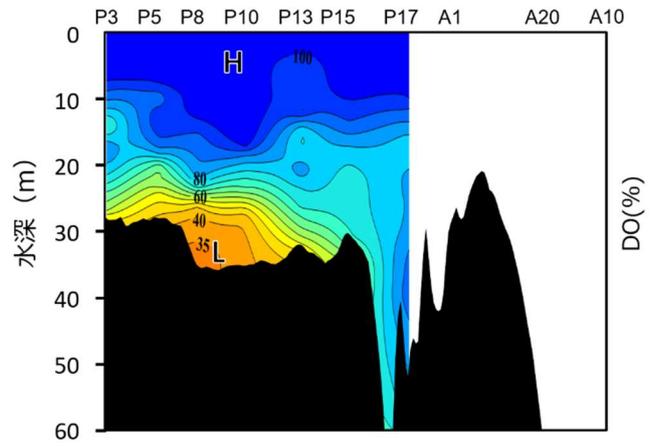
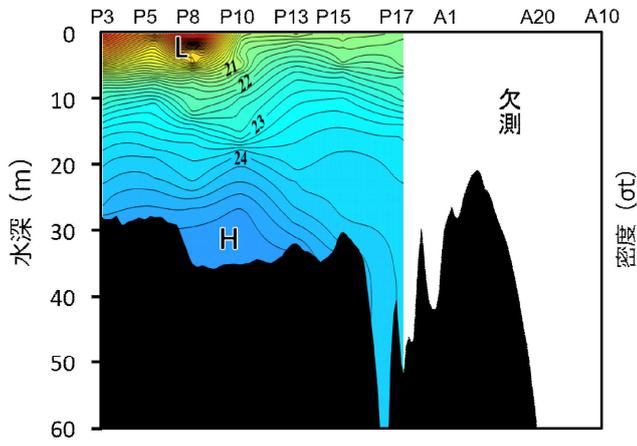
海面のクロロフィルa濃度は、伊勢湾の湾奥と三河湾の湾奥で高く、伊勢湾湾央から湾口では低くなっています。

【鉛直分布（調査点：P3～P17）】

気温の上昇、日射、および河川水の影響で、内湾全域で成層の発達が見えます。成層化により、内湾の底層は湾央（P8～10）を中心に溶存酸素濃度の低くなっており、今後貧酸素水塊（溶存酸素濃度が30%以下）となると予想されます。

クロロフィルa濃度は、河川水の供給される湾奥の表層にピークがみられ、湾央から湾口では中層付近の濃度が高くなっています。





※図中の値は常用対数値です